

消費生活センターだより

問 松浦市消費生活センター ☎内線 180 直通 72-1861

リコール製品による火災などの事故防止について

冬の寒さが徐々に厳しくなるにつれて、暖房機器を利用する機会が増えてきます。

消費者庁には、平成22年度以降、暖房機器などに関する火災等の重大事故の報告が数多く寄せられており、未対応のリコール製品に関する重大事故も発生しています。

お持ちの製品がリコールにより回収、交換または修理対象となっていないか下記のリコール情報サイトで確認してみましょう。該当する製品をそのまま使い続けると、火災などの重大な事故を引き起こすおそれがあり、大変危険です。

また、リコール情報サイトには、暖房機器の他にパソコン、携帯電話用充電器、加湿器、台所用機器、消火器などのリコール情報もあります。万一来に備え、定期的に家庭内の製品の安全を確認することをお勧めします。

消費者庁：リコール情報サイト(製品の回収情報や事故情報を調べることができます。)

<https://www.caa.recall.go.jp>

もし事故が起きたら、状況をできるだけ詳しく記録し、製品やケガの程度を写真に撮るなどの証拠を保存した上で、販売店やメーカーに伝えましょう。

情報を伝えることで、他の事故防止に役立てることもできます。

売店やメーカーにつながらない、どこに聞けばよいのか分からない場合などは消費生活センターにご相談ください。

天神書簡—福岡事務所便り—

日本タウン誌・フリーペーパー大賞2019
～自治体PR部門 優秀賞受賞～

松浦の魅力を多くの方に伝えるために製作してきた「meets! まつら」。昨年「アジフライの聖地宣言書」と題して製作した「meets! まつら vol.14」が、一般社団法人日本地域情報振興協会が主催する日本タウン誌・フリーペーパー大賞2019の自治体PR部門で優秀賞(5作品)を受賞しました。

11月29日に東京都で授賞式が執り行われ、自治体PR部門において優秀賞の中から、最優秀賞が選ばれるという緊張感の中、いざ壇上へ。

残念ながら、最優秀賞には届きませんでした。多くの自治体、観光協会等が発行する冊子の2位に相当する優秀賞を受賞することができ、松浦市の取り組みとこの冊子が評価されたことを誇りに思います。

製作にあたって、取材等にご協力いただきました皆さまにあらためて感謝申し上げますとともに、この冊子が、多くの方の目に触れ、松浦市に来て頂くきっかけになればと願っています。

問合せ先

松浦市福岡事務所

☎ 092-406-2180

✉ matsuura.f@city.matsuura.lg.jp

▲授賞式会場で



▲表彰状&受賞作品「meets! まつら vol.14」



人生会議してみませんか？

問 長寿介護課 ☎内線 191

人は誰でも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めることができず、望みを人に伝えたりすることもできなくなると言われています。

延命治療や過ごしたい場所など、自らが希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいることを自分自身で前もって考え、本人や家族などと医療・ケアチームが話し合い、共有することが重要です。

この取り組みを「ACP：アドバンス・ケア・プランニング」と呼びます。

2018年11月30日（「いい看取り、看取られ」の日）に、厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」に決定しました。

この取り組みで重要なことは、自分の生き方や命について、家族や信頼できる周囲の人たちと、ゆつくりと語り合える時間を持つことです。

まずは、あなたが大切にしていること（希望や思い）について考えてみる、かかりつけ医を持ち自分の身体のことについて知っておくなど、少しずつ始めてみませんか。そして、家族など信頼できる人と、あなたの大切にしていることを繰り返し話し合ってみましょう。



わたしたちの郷土 ～文化財は地域の宝～

鷹島海底遺跡調査開始 40 周年を迎えます

鷹島沖には、弘安4年（1281年）の2度目の元寇（蒙古襲来）の折に総勢14万人、4,400隻の元軍の大船団が暴風雨によって沈んだと伝えられています。

鷹島では、昭和55年（1980年）から海底遺跡として調査が始められ、今日までさまざまな調査が継続的に行われています。その成果として元寇（蒙古襲来）の様子を如実に物語る武器や武具類、日用品など約4,000点の遺物が出土しています。

特に、平成23年（2011年）には元寇船が発見されたことで、大きな注目を集め、翌年には鷹島海底遺跡の一部が「鷹島神崎遺跡」として海底遺跡では初めて国史跡に指定されました。

鷹島海底遺跡は、長年に亘り水中遺跡の調査・研究を積み上げてきました。そこで、発掘調査開始から40周年を迎える令和2年（2020年）には、企画展やイベントなどに取り組むこととしています。

次回から、これまでの鷹島海底遺跡の調査を振り返り、シリーズでご紹介します。



▲床浪港水中作業風景（昭和58年）

問合せ先 文化財課 ☎内線 356